

参加無料

令和元年度

中核人材育成研修

北海道立総合研究機構では、道内ものづくり企業のQCD対応力強化を図るため、道内企業の特性である多品種少量生産で労働集約型の企業形態に対応し、自社の強み、弱みを総合的に把握、判断できる「生産管理自己診断システム」を開発しました。

今回、道内ものづくり企業の現場及び管理部門の管理者等を対象に、このシステムを活用し、企業自らが改善活動を実施できる中核人材(評価担当者)を育成するための研修を開催します。

第1回

9月30日[月]
13:30-16:30

管理に着目した基準の解説

○品質、原価、工程管理、人材育成 等

北海道科学大学 未来デザイン学部 人間社会学科 教授

三上 行生 氏

経歴: 北海道科学大学人間社会学科教授、大学院 機械工学科教授。学術博士。担当科目: 生産工学特論、生産管理論、中小企業論、経営管理論、産業心理学等。北海道技術アドバイザー(指導分野: 機械・金属製品製造業分野: 北海道)。高年齢者雇用推進委員会座長(北海道労働局)、北海道生涯現役促進協議会会長(北海道)等を歴任



第2回

10月28日[月]
13:30-16:30

現場に着目した基準の解説

○標準化、カイゼン、レイアウト 等

第3回

11月25日[月]
13:30-16:30

自社診断結果や改善計画への助言と 講評[診断結果報告会]

元トヨタ自動車北海道(株) 取締役技術部長

齋藤 均 氏

経歴: 昭和44年トヨタ自動車工業株式会社に入社。平成5年1月トヨタ自動車北海道株式会社生産部。平成20年6月同社取締役技術部長。平成24年6月同社退任、同社顧問に就任。平成24年8月北海道銀行顧問に就任。



生産管理自己診断システムの概要

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部
ものづくり支援センター センター長 飯田 憲一

自己紹介: 日本生産管理学会、品質工学会、産業保健人間工学会、グローバル経営学会に所属し、製造業を中心に生産性向上(カイゼン、自動化等)を図るための試験研究及び技術支援を行っています。

参加者全員に生産管理自己診断システム[解説書]を無料配布



◆ 会場 | (地独)北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場
[札幌市北区北19条西11丁目]

◆ 定員 | 5社(各社2名以上)程度[定員になり次第、申し込みを締め切ります]
※第3回(11月25日)に「自己診断結果や改善計画の発表」を参加企業にお願いしております
ので、各社2名以上でのご参加を原則といたします。 【申込書は裏面】

【お問合先】[地独]北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター 電話番号(直通)011-747-2336

令和元年度 中核人材育成研修 参加申込書

北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター菱川(ひしかわ) あて

申込締切日:9月26日(木)

- ◆FAXでお申込みの場合…下記の表に記入の上、この参加申込書をFAXしてください。【FAX:011-726-4057】
- ◆メールでお申込みの場合…【kaihatsu@hro.or.jp】に、企業名・住所・電話・FAX・参加者の所属・職・氏名を記載し、送信して下さい。

企業名 (機関名)			
住所	〒		
電話		FAX	
E-mail			
参加者	所属	職	氏名

■ 申込み・問い合わせ先 ■

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部ものづくり支援センター (担当:菱川)
〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目
電話:011-747-2336 (直通) / FAX:011-726-4057 / E-mail:kaihatsu@hro.or.jp

会場へのアクセス

北海道立総合研究機構 工業試験場 (札幌市北区北19条西11丁目)



- 地下鉄市営南北線「北18条駅」より徒歩約15分(約1Km)
※エルムトンネルの上を通る「地上遊歩道(赤い線)」をご利用ください。
- 地下鉄市営南北線「北18条駅」より車で約5分
※新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からお入りください。
※地下鉄北18条駅側から来られる場合はエルムトンネルを通る経路(青い線)をご利用ください。
- 「JR札幌駅北口」より車で約15分
※新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からお入りください。